

若者意見の募集に係る
アンケート調査（試行）実施報告

平成28年3月

環境生活部くらし安全局道民生活課

目 次

1	調査概要	
(1)	調査の目的	1
(2)	調査の内容	1
(3)	募集期間	1
(4)	対象者	1
(5)	周知方法	1
(6)	提出方法	2
2	試行結果の考察	
(1)	試行に至る経過	2
(2)	今回の調査手法について	3
(3)	今後の取組に向けて	3
3	アンケート調査の集計結果	
(1)	回答総数及び全体傾向について	4
(2)	基本事項（属性）	6
	ア 年 齢	6
	イ 性 別	7
	ウ 既婚者・未婚者の別	8
	エ 居住地域	9
	オ 職業等	10
(3)	質問 1 (1)	12
(4)	質問 1 (2)	15
(5)	質問 2	18
(6)	質問 3 (1)	21
(7)	質問 3 (2)	24
(8)	質問 3 (3)	27
(9)	質問 4	30

1 調査概要

(1) 調査の目的

多様化する道民ニーズに的確に対応するためには、北海道の未来を担う若者の意見を道政に反映していくことが大変重要であることから、その仕組みづくり等に向けた効果的な若者の意見の聴取方法を検討するため、インターネットを活用したアンケート調査を試行するもの。

(2) 調査の内容

質問1では、今後の若者意見の聴取に向け、広く若者へ周知する方法や、若者自身がより参加しやすい意見発信や交流の方法を探るため、今回のアンケートをどのように知ったのか、また、意見を発信するうえで、どの手段・方法が望ましいと考えるのかを調査した。

質問2、3では、道の若者施策等の参考とするとともに、今後の意見聴取の際のテーマや内容設定の参考とするため、道政分野別の関心の高さや、力を入れるべき施策などについての考えを調査した。

(3) 募集期間

平成27年9月28日（月）～平成27年12月4日（金）

(4) 対象者

道内に在住する29歳までの者

(5) 周知方法

ア 北海道のホームページ、ブログ及びフェイスブックなどによる周知

イ 各機関への郵送・訪問等による周知
(主な周知先)

区 分	周知方法
道内の大学	訪問又は電子メールによる周知依頼
道内の高校	道教委及び総務部学事課を経由した周知依頼
青少年育成活動団体	北海道青少年育成協会、北海道青年団体協議会を経由した、電子メールによる周知依頼
産業団体等	北海道農業協同組合中央会、北海道商工会青年部連合会など経済団体構成員への周知
若者支援センター(札幌市内4箇所)、札幌若者会議、オオドオリ大学、よさこいソーラン祭組織委員会	訪問による利用者への周知依頼
ボランティア団体等	札幌市社会福祉協議会ボランティア活動支援センターを経由した電子メールによる周知依頼
社会福祉法人等	保健福祉部福祉局福祉援護課を経由した電子メールによる周知依頼
N P O 法人	環境生活部くらし安全局道民生活課を経由した電子メールによる周知
公務員等	北海道町村会、北海道市町村会、北海道町村教育委員会、北海道都市教育委員会連絡協議会を経由した電子メールによる周知 北海道社会福祉協議会を経由した市町村社会福祉協議会に対する周知 北海道行政情報ネットワークの掲示板による北海道職員への周知

(6) 提出方法

道庁ホームページのアンケートフォーム画面への入力による

2 試行結果の考察

(1) 試行に至る経過

若者意見の聴取に当たっては、いくつかの方法、例えば主なものとして、会議の開催やアンケート調査の実施、モニターの募集などが考えられる。また、これらの方法ごとに、会議であれば開催場所や規模の設定、アンケート調査であれば郵送やイベント会場での実施など、手段についても様々な実施形態が考えられる。

このため、まず、若者自身の意見を伺い、それを意見聴取の方法の検討に生かすとともに、一連のプロセスを検証するため、試行としてインターネットを活用したアンケート調査を実施した。

(2) 今回の調査手法について

- 都市部、町村部を問わず、多数、多様な意見が寄せられた。
- 年齢や性別、既婚・未婚別の回答数も、概ね人口に応じた比率となった。
- 職業のみは、周知にあたって道庁内掲示板へ掲載したことから、実際の人口比と異なり公務員からの回答が最も多いこととなった。

ア メリットなど

- 今後の意見聴取にあたって、希望する調査手法の質問に対し、今回同様インターネットを活用した定型フォーム入力方式を望む回答が49.2%と最も多く、SNS利用など他の媒体の利用も含めると8割の人が今後もインターネットの活用を求めるなど、改めてインターネットの利便性の高さが確認できた。
- フォーム入力結果をそのまま集計することができるため、集計作業が容易であった。
- 回収などにあたって特別な経費を要さず、安価に実施することができた。

イ デメリット・課題など

- インターネットを通じてアンケート調査を知った旨の回答は16.1%にとどまっており、周知方法については、さらに検討を要する。
- 今回、自由意見も多く寄せられたが、定型フォーム入力方式であるため、多様な意見を十分に聴取することが難しい。
- 会議やSNSの利用など双方向での議論の深化を望む回答が33.3%あったが、定型フォーム入力方式では一方向のみであり、この意見に応えることができない。

(3) 今後の取組に向けて

今回試行として実施した、インターネットを活用した定型フォーム入力方式の調査は、回答する方にとって参加しやすい方式であることが、多くの回答を得ることができた大きな理由と考える。

また、調査を実施する側からも、調査経費が安価であることや回答者の属性とのクロス集計による分析も容易であることなど、意見聴取の手法として適当なものと考えている。

一方で、会議やSNSの利用など双方向での意見交換を望む回答も多かったが、特定のテーマに関して意見の方向を調査するのではなく、様々な観点から

幅広く意見を聴取するうえでは効果があると考えられるため、これにふさわしいテーマ選定や意見の把握の方法について検討する。

今回のアンケートでは回答者の職業に偏りが見られたこと、インターネットから直接情報を得た方の割合が低かったことなどから、SNS利用などで不特定多数に意見を聴く場合に、偏りの少ない、より多くの参加者を得るための周知方法などについて、今後さらに検討する。

3 アンケート調査の集計結果

(1) 回答総数及び全体傾向について

ア 全道各地から901人の回答があった。

イ 道庁内の電子掲示板に掲載したこと及び各市町村へ依頼したこともあり、公務員からの回答が354人(40.4%)と最も多かったが、公務員以外に537人(59.6%)の方から回答が寄せられた。

なお、公務員を含めた集計結果と公務員を抜いた集計結果とでは、回答の傾向に、大きな差異はなかった。

ウ このアンケート調査をどのように知ったかについては、「学校や職場などを通じて」が595人(66.0%)と最も多く、道のホームページやブログ、ツイッター等SNSを通じてが145人(16.1%)、また、横への拡がりを期待した、青年団体・ボランティア、趣味のサークルなどを通じてや友人・知人から聞いたが84人(9.3%)と、一定の効果が認められた。

エ 上記のとおり、このアンケート調査を知った方法を聞いた質問1(1)では、各学校や機関への周知活動を行ったことから、「学校や職場を通じて知った」と回答した人が全体の3分の2を占め、道のホームページ等IT媒体から直接知ったという人は16.1%にとどまった。

また、若者自身に意見を発信するための望ましい方法を聞いた質問1(2)では、約8割の人がインターネットを活用した方法を望む結果となり、そのうち、今回の調査方法と同様にインターネットを活用した定型フォーム入力方式によるアンケート調査を望む人は全体の約半数を占めた。

このため、若者意見の聴取においてインターネットの活用は、広大な面積を有する本道の広域性やスマートフォンの急激な普及といった状況と相まって、若者意見を聴取する方法としては、非常に有効であることが確認された。

しかし、会議やSNSの利用など双方向で意見交換する方法を望む意見も33.3%に達した。

質問2では、「日常のくらしや医療、福祉」への関心が39.0%と最も高く、特に女性や既婚者は高い関心を示している。

「教育・文化」、「自然や社会の環境やまちづくり」が15%台で続くほか、他の行政分野にも広く関心があることが明らかになった。

質問3では、さらに個別の施策についても、『経済・産業に関すること』では、「安定的な働く場所の確保」、「地域の特性を活かした産業の振興」がそれぞれ50%台に達し、『くらしに関すること』では、「保育所の増設など、安心して子どもを産み育てることができる環境づくり」が60%を超え、さらに『地域に関すること』についても、「子どもや青少年の育成」が50%近くになっており、特に力を入れるべき施策を選ぶ際に、身近で、より生活に密着した施策が大切と考えていることが明らかとなった。

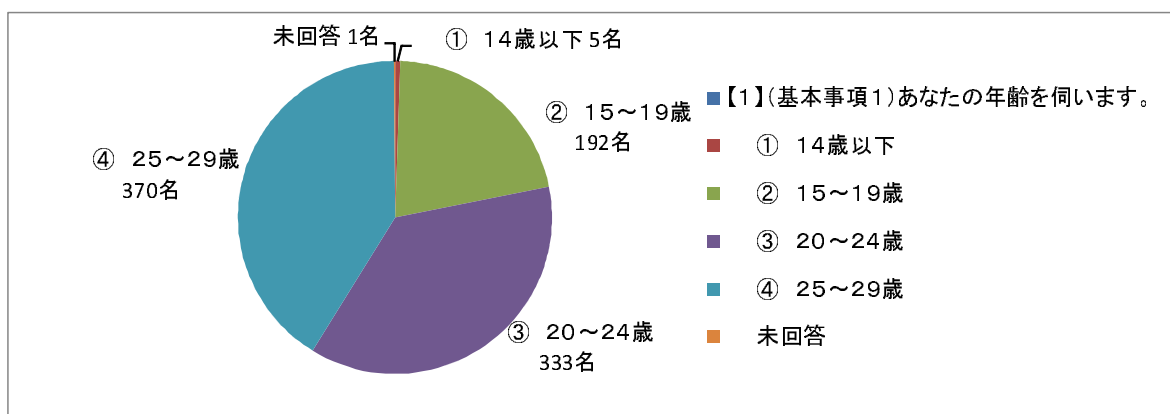
(2) 基本事項（属性）

ア 年齢

選択肢	人数	参考	
		人口割合(%)	差
① 14歳以下	5	22.6	△22.1
② 15～19歳	192	24.6	△3.3
③ 20～24歳	333	25.2	11.8
④ 25～29歳	370	27.6	13.5
未回答	1	-	-
計	901	100.0	-

※参考の人口割合(%)欄は、平成22年度国勢調査の10～29歳までの合計を100とした場合の比率を算定

※参考の人口割合(%)欄の14歳以下は、10～14歳の合計を元に算定



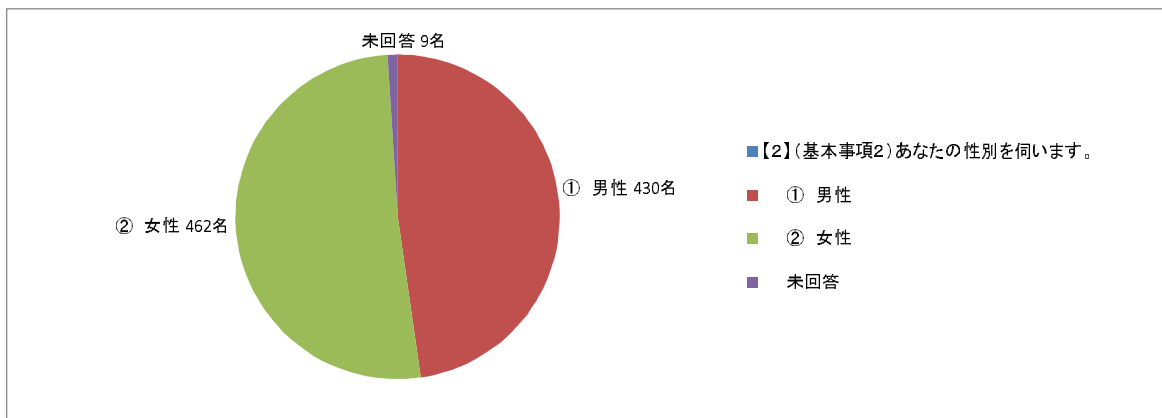
【傾向】

- 回答者の年齢比は、人口が「①14歳以下」を除き、「②15～19歳」、「③20～24歳」、「④25～29歳」までが5歳刻みで同じであるのに対して、「④25～29歳」が41.1%、「③20～24歳」が37.0%と続いており、年齢が高いほど回答率が高い
- 年齢が高いほど、その他意見欄への書き込みも多く、複数回答可の質問における回答選択項目も多くなっているなど、社会的事項への関心が高い

イ 性別

選択肢	人数	割合(%)	参考	
			人口割合(%)	差
① 男性	430	47.7	50.6	△2.9
② 女性	462	51.3	49.4	1.9
未回答	9	1.0	-	-
計	901	100.0	100.0	

※平成22年度国勢調査における29歳未満の男女別人口による。



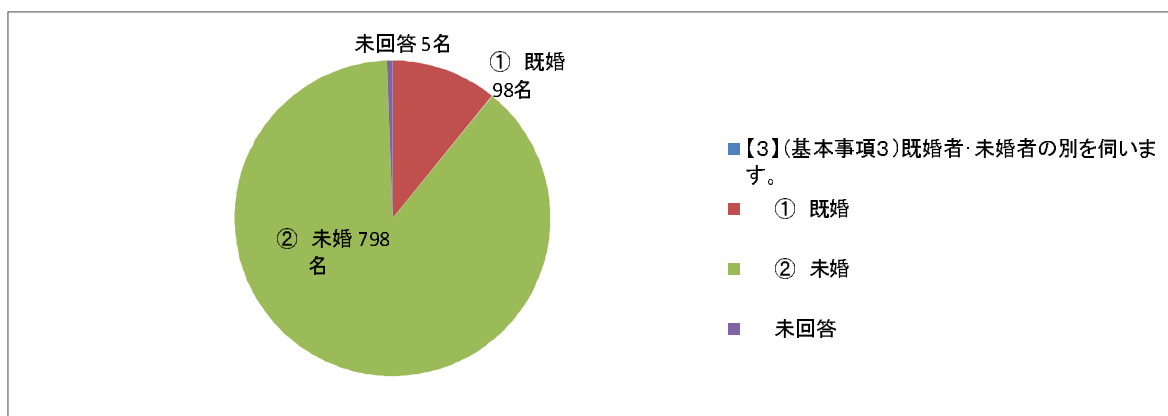
【傾向】

- 回答者の男女比はおおむね人口に比例しており、偏在は見られない
- 関心のある行政分野などについては、女性が日常のくらしや雇用など、より身近な問題に関心が高く、男性は産業や経済に関心が高い傾向が見られた

ウ 既婚者・未婚者の別

選択肢	人数(件)	割合(%)	参考	
			人口割合(%)	差
① 既婚	98	10.9	15.8	△4.9
② 未婚	798	88.6	84.2	4.4
未回答	5	0.5	-	
計	901	100.0	100.0	

※平成22年度国勢調査における29歳未満の既婚・未婚の状況による。



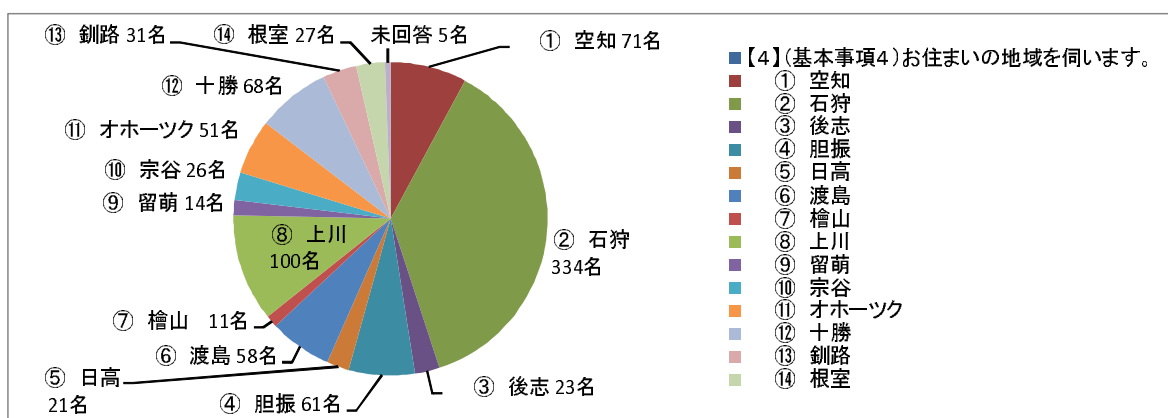
【傾向】

- 回答者の既婚・未婚比は未婚率と比較し、特に偏在は見られない
- 関心のある行政分野などについては、既婚者が日常のくらしや雇用など、より身近な問題に関心が高く、未婚者は産業・経済や行政等について関心が高い傾向が見られた

工 居住地域

選択肢	人数 (件)	割合(%)	参考	
			人口割合(%)	差
① 空知	71	7.9	5.1	2.8
② 石狩	334	37.1	46.4	△9.3
③ 後志	23	2.5	3.6	△1.1
④ 胆振	61	6.8	7.4	△0.6
⑤ 日高	21	2.3	1.3	1.0
⑥ 渡島	58	6.4	7.2	△0.8
⑦ 檜山	11	1.2	0.6	0.6
⑧ 上川	100	11.1	8.8	2.3
⑨ 留萌	14	1.6	0.8	0.8
⑩ 宗谷	26	2.9	1.2	1.7
⑪ オホーツク	51	5.7	5.3	0.4
⑫ 十勝	68	7.5	6.4	1.1
⑬ 釧路	31	3.4	4.3	△0.9
⑭ 根室	27	3.0	1.6	1.4
未回答	5	0.6	-	-
計	901	100.0	100.0	

※平成22年度国勢調査における29歳未満の人口による。



【傾 向】

- 回答者の地域比は多少の増減はあるものの、大きな偏在は見られない
- 関心のある行政分野などについては、「日常のくらしや医療・福祉」が全ての地域で関心が高いが、他も項目については地域により違いが生じており、「自然や社会環境」への関心が高い地域では「教育・文化」への関心が低く、逆に「教育・文化」への関心が高い地域では「自然や社会環境」への関心が低い傾向となった

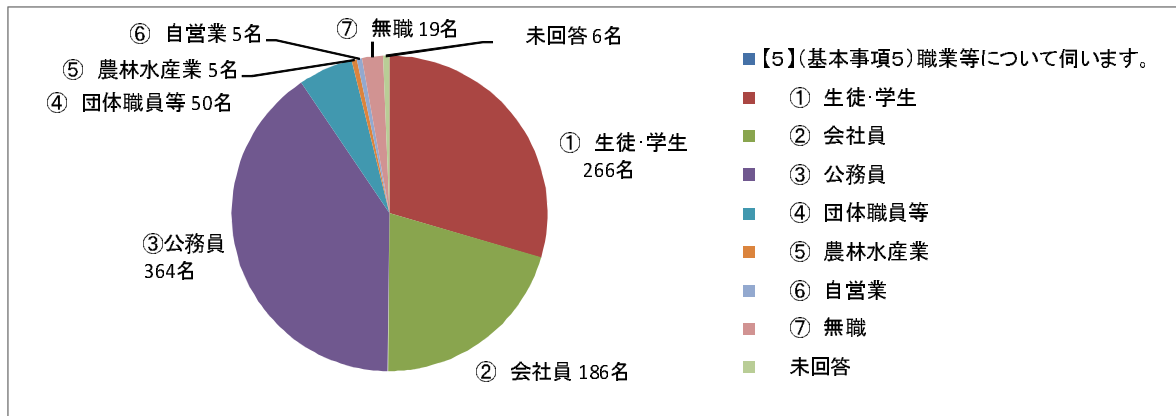
才 職業等

選択肢	人数(件)	割合(%)	参考	
			人口割合(%)	差
① 学生・生徒	266	29.5(49.5)	37.5	△8.0
② 会社員	186	20.6(34.7)	49.4	△28.8
③ 公務員	364	40.4(-)	3.3	37.1
④ 団体職員等	50	5.5(9.3)	-	-
⑤ 農林水産業	5	0.6(0.9)	2.4	△1.8
⑥ 自営業	5	0.6(0.9)	0.7	△0.1
⑦ 無職	19	2.1(3.6)	6.7	△4.6
未回答	6	0.7(1.1)	-	0.7
計	901(537)	100.0	100.0	

※平成22年度国勢調査における29歳未満の労働力・産業人口による。

※人数欄及び割合欄の()は公務員を除いた数字

※参考欄の団体職員等は会社員に含まれる。



【傾向】

- 回答者の職業別比率は、道庁の電子掲示板等に掲載した結果、「③公務員」が40.4%と最も多く、以下、「①学生・生徒」29.5%、「②会社員」20.6%、「④団体職員等」5.5%と続いているが、公務員を除いた537人を人口で対比すると、「①学生・生徒」は人口比33.2%に対し49.5%と多くなっており、その分「②会社員」及び「④団体職員等」が48.6%に対して44.0%と低くなっている
農林水産業や自営業については、総数自体は少ないが、人口比では上回っている
- 関心のある行政分野などについては、『日常のくらしや医療、福祉』については「②会社員」など社会人の関心が高く、逆に『教育・文化』については「①学生・生徒」の関心が高い結果となった

(3) 質問1(1)

ア 質問事項

質問1 今後、若い方々からご意見を伺う際の方法等を検討するために伺います。

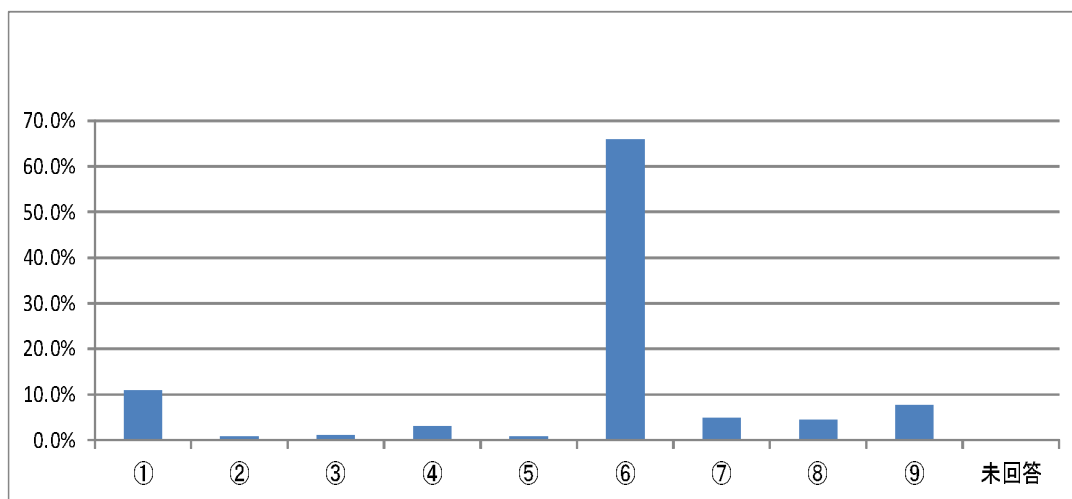
(1) このアンケートをどうやって知りましたか。

- ① 道のホームページを見て
- ② ブログを見て
- ③ ツイッターを見て
- ④ フェイスブックを見て
- ⑤ 新聞等の報道を通じて
- ⑥ 学校や職場などを通じて
- ⑦ 青年団体・ボランティア、趣味のサークルなどを通じて
- ⑧ 友人・知人から聞いて
- ⑨ その他

イ 質問の趣旨

このアンケートをどのように知ったかを聴くことにより、今後、若者意見の聴取の際に、どの方法による広報が効果的か調べるもの。

ウ 集計結果



	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	未回答	計
割合	11.0%	0.8%	1.2%	3.1%	0.8%	66.0%	4.9%	4.4%	7.7%	0.1%	
人数	99名	7名	11名	28名	7名	595名	44名	40名	69名	1名	901名

【傾 向】

- 「⑥学校や職場などを通じて」が66%と、約3分の2を占めた
- インターネットに関する項目、「①道のホームページを見て」、「②ブログを見て」、「③ツイッターを見て」、「④フェイスブックを見て」の4点はあわせても16.1%、「⑨その他」の多くに記載のあった道以外のブログやツイッターを加えると20%程度となった
- 「①道のホームページを見て」や「②ブログを見て」は年齢層が高くなるに従って、おおむね増加した
- 「④フェイスブックを見て」については、主に大学生が属する20~24歳が一番高くなっている
- 年齢別では、「⑥学校や職場などを通じて」が20~24歳で約7割と最も高く、中高生世代である15~19歳が約6割と最も低い
「⑦青年団体・ボランティア、趣味のサークルなどを通じて」、「⑧友人・知人から聞いて」、「⑨その他」については、15~19歳が最も高くなっている
- 男女別では、「①道のホームページを見て」や「②ブログを見て」については女性の選択数が男性の半分にとどまっている
- 既婚・未婚の別では、既婚者がおおむね「①道のホームページを見て」と「⑧友人・知人から聞いて」に集約されているのに対して、未婚者は広く様々な媒体から情報を得ている
- 地域別では、ほとんどの地域がおおむね「①道のホームページを見て」と「⑥学校や職場などを通じて」により知ったのに対し、石狩では様々な媒体から情報を得ている
- 職業別では、農林水産業従事者は全て「⑥学校や職場などを通じて」、など、いわゆる人づてによりこのアンケートを知っているが、自営業者は「①道のホームページを見て」など媒体によりこの調査を認識しており、無職者については広く多様な媒体から情報を得ている

エ その他の回答

- スマートフォンのニュースアプリやモニター募集サイト
- 知り合いのフェイスブック
- 市町村のホームページ
- 授業で取り組んだ
- 職場の電子掲示板

質問1 今後、若い方々からご意見を伺う際の方法等を検討するために伺います。

(1) このアンケートをどうやって知りましたか。

質問項目		全体	① 道HP	② ブログ	③ チラシ	④ フェイスブック	⑤ 報道	⑥ 学校職場	⑦ 団体等	⑧ 友人知人	⑨ その他	未回答
基本事項	全体	901	99	7	11	28	7	595	44	40	69	1
		100.0%	11.0%	0.8%	1.2%	3.1%	0.8%	66.0%	4.9%	4.4%	7.7%	0.1%
	14歳以下	5						5				
		0.6%						100.0%				
	15～19歳	192	10	1	4	2	1	116	18	19	21	
		21.3%	5.2%	0.5%	2.1%	1.0%	0.5%	60.4%	9.4%	9.9%	10.9%	
20～24歳	333	33	3	4	14	3	230	17	8	21		
	37.0%	9.9%	0.9%	1.2%	4.2%	0.9%	69.1%	5.1%	2.4%	6.3%		
25～29歳	370	56	3	3	12	3	243	9	13	27	1	
	41.1%	15.1%	0.8%	0.8%	3.2%	0.8%	65.7%	2.4%	3.5%	7.3%	0.3%	
未回答	1						1					
	0.1%						100.0%					
性別	全体	901	99	7	11	28	7	595	44	40	69	1
		100.0%	11.0%	0.8%	1.2%	3.1%	0.8%	66.0%	4.9%	4.4%	7.7%	0.1%
	男性	430	63	4	3	12	3	275	18	13	38	1
		47.7%	14.7%	0.9%	0.7%	2.8%	0.7%	64.0%	4.2%	3.0%	8.8%	0.2%
女性	462	35	3	8	15	4	316	26	26	29		
	51.3%	7.6%	0.6%	1.7%	3.2%	0.9%	68.4%	5.6%	5.6%	6.3%		
未回答	9	1			1		4		1	2		
	1.0%	11.1%			11.1%		44.4%		11.1%	22.2%		
未婚結婚	全体	901	99	7	11	28	7	595	44	40	69	1
		100.0%	11.0%	0.8%	1.2%	3.1%	0.8%	66.0%	4.9%	4.4%	7.7%	0.1%
	既婚	98	14		1	3		68	1	7	4	
		10.9%	14.3%		1.0%	3.1%		69.4%	1.0%	7.1%	4.1%	
未婚	798	85	7	10	24	7	524	43	32	65	1	
	88.6%	10.7%	0.9%	1.3%	3.0%	0.9%	65.7%	5.4%	4.0%	8.1%	0.1%	
未回答	5				1		3		1			
	0.6%				20.0%		60.0%		20.0%			
居住地域	全体	901	99	7	11	28	7	595	44	40	69	1
		100.0%	11.0%	0.8%	1.2%	3.1%	0.8%	66.0%	4.9%	4.4%	7.7%	0.1%
	空知	71	7		1	4	1	51	2	3	2	
		7.9%	9.9%		1.4%	5.6%	1.4%	71.8%	2.8%	4.2%	2.8%	
	石狩	334	38	3	10	12	2	163	35	28	42	1
		37.1%	11.4%	0.9%	3.0%	3.6%	0.6%	48.8%	10.5%	8.4%	12.6%	0.3%
	後志	23	2			2		15		1	3	
		2.6%	8.7%			8.7%		65.2%		4.3%	13.0%	
	胆振	61	7				1	50	2		1	
		6.8%	11.5%				1.6%	82.0%	3.3%		1.6%	
	日高	21	1			2		17	1			
		2.3%	4.8%			9.5%		81.0%	4.8%			
	渡島	58		3		4	1	48	1	1		
		6.4%		5.2%		6.9%	1.7%	82.8%	1.7%	1.7%		
	檜山	11	2					9				
		1.2%	18.2%					81.8%				
	上川	100	5	1				85		3	6	
		11.1%	5.0%	1.0%				85.0%		3.0%	6.0%	
	留萌	14	3					11				
	1.6%	21.4%					78.6%					
宗谷	26	6			1		16					
	2.9%	23.1%			3.8%		61.5%			11.5%		
オホーツク	51	11					33	1	1	5		
	5.7%	21.6%					64.7%	2.0%	2.0%	9.8%		
十勝	68	11			1	1	51		1	3		
	7.5%	16.2%			1.5%	1.5%	75.0%		1.5%	4.4%		
釧路	31	3			1		24		2	1		
	3.4%	9.7%			3.2%		77.4%		6.5%	3.2%		
根室	27	3				1	18	2		3		
	3.0%	11.1%				3.7%	66.7%	7.4%		11.1%		
未回答	5				1		4					
	0.6%				20.0%		80.0%					
職業等	全体	901	99	7	11	28	7	595	44	40	69	1
		100.0%	11.0%	0.8%	1.2%	3.1%	0.8%	66.0%	4.9%	4.4%	7.7%	0.1%
	生徒・学生	266	13	3	5	7	2	157	31	24	24	
		29.5%	4.9%	1.1%	1.9%	2.6%	0.8%	59.0%	11.7%	9.0%	9.0%	
	会社員	186	16	2	4	9	2	124	5	6	17	1
		20.6%	8.6%	1.1%	2.2%	4.8%	1.1%	66.7%	2.7%	3.2%	9.1%	0.5%
	公務員	364	62	1	2	5	1	264	1	6	22	
		40.4%	17.0%	0.3%	0.5%	1.4%	0.3%	72.5%	0.3%	1.6%	6.0%	
	団体職員等	50	5			2		42			1	
		5.5%	10.0%			4.0%		84.0%			2.0%	
農林水産業	5						2	2	1			
	0.6%						40.0%	40.0%	20.0%			
自営業	5	2	1		2							
	0.6%	40.0%	20.0%		40.0%							
無職	19	1			3	2	1	5	3	4		
	2.1%	5.3%			15.8%	10.5%	5.3%	26.3%	15.8%	21.1%		
未回答	6						5			1		
	0.7%						83.3%			16.7%		

※ 白地部分は各基本事項毎の割合を、網掛け部分の割合は全体に対する割合を、それぞれ記載した。

(4) 質問1(2)

ア 質問事項

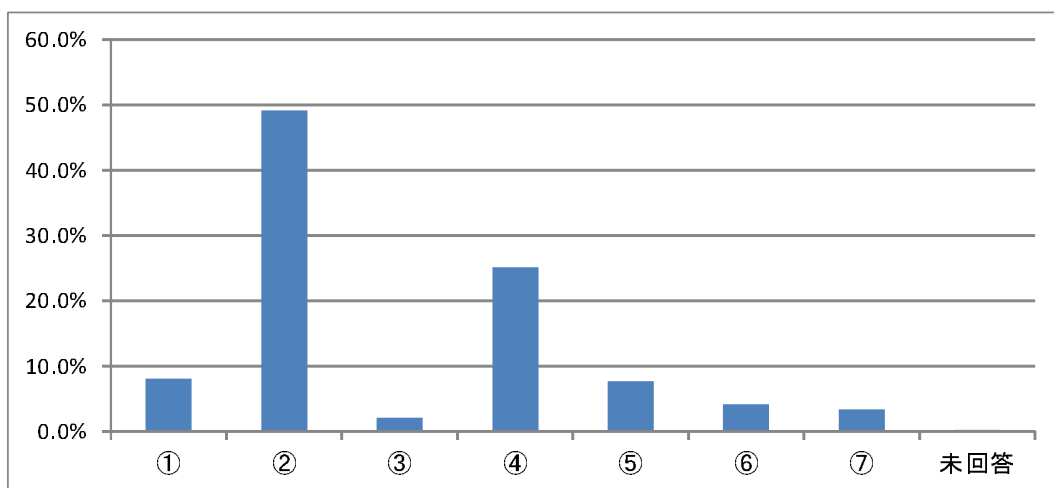
質問1 今後、若い方々からご意見を伺う際の方法等を検討するために伺います。
(2) 今後、道庁が若い方々のご意見を伺う際には、どんな方法が良いと思いますか。

- ① 会議での意見交換
- ② インターネットを活用したフォーム入力によるアンケート調査
- ③ 電子メールを活用した意見募集
- ④ SNSなどを使った意見交換
- ⑤ 意見を聴くためのモニターを募集する
- ⑥ わからない
- ⑦ その他

イ 質問の趣旨

若者が望む方法を聴くことにより、今後、若者意見を伺う際にどの方法がより若者の参加を促すことができるかを調べるもの。

ウ 集計結果



	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	未回答	計
割合	8.1%	49.2%	2.1%	25.2%	7.7%	4.2%	3.3%	0.2%	
人数	73名	443名	19名	227名	69名	38名	30名	2名	901名

【傾 向】

- 「②インターネットを活用したフォーム入力によるアンケート調査」が49.2%と約半数を占め、「③電子メールを活用した意見募集」、「④SNSなどを使った意見交換」を加えると全体の4分の3がインターネットを活用した取組を求めている
- 「①会議での意見交換」8.1%、「⑤意見を聴くためのモニターを募集する」7.7%などインターネット以外での方法についても一定の支持があった
- 年齢別では、年齢が若いほど会議形式を望んでおり、逆に年齢が高くなるほどインターネットによるものを望む割合が高い
- 男女別では、「①会議での意見交換」では男性が女性の倍の支持となっており、「②インターネットを活用したフォーム入力によるアンケート調査」は女性が男性より支持が高い
- 既婚・未婚の別では、「①会議での意見交換」については未婚者が既婚者より支持が高く、「②インターネットを活用したフォーム入力によるアンケート調査」については既婚者が未婚者より支持が高い
- 職業別では、年齢同様、生徒・学生が最も「①会議での意見交換」を望む率が高く、反対に「②インターネットを活用したフォーム入力によるアンケート調査」については最も低い

エ その他の回答

- PCやスマホがない人向けに、アナログ派の人たちにもわかりやすい工夫をしてほしい
- ネットは手軽だが、わざわざ回答する手間をかける人は少ないと思うので、札幌駅前通地下歩行空間等でアンケートを実施してはどうか
- ニコニコ動画などでライブ会議を実施してはどうか
- 様々なSNSを活用した告知をしてはどうか

質問1 今後、若い方々からご意見を伺う際の方法等を検討するために伺います。

(2) ご意見を伺う際にはどんな方法が良いと思いますか。

質問項目		全体	① 会議形式	② ネットアンケート	③ 電子メール	④ SNS	⑤ モニター制度	⑥ ない	⑦ その他	未回答
基本事項	全体	901	73	443	19	227	69	38	30	2
		100.0%	8.1%	49.2%	2.1%	25.2%	7.7%	4.2%	3.3%	0.2%
	14歳以下	5	1	1		3				
		0.6%	20.0%	20.0%		60.0%				
	15～19歳	192	22	78	7	46	10	26	3	
		21.3%	11.5%	40.6%	3.6%	24.0%	5.2%	13.5%	1.6%	
20～24歳	333	22	167	6	95	25	9	7	2	
	37.0%	6.6%	50.2%	1.8%	28.5%	7.5%	2.7%	2.1%	0.6%	
25～29歳	370	28	197	6	82	34	3	20		
	41.1%	7.6%	53.2%	1.6%	22.2%	9.2%	0.8%	5.4%		
未回答	1				1					
	0.1%				100.0%					
性別	全体	901	73	443	19	227	69	38	30	2
		100.0%	8.1%	49.2%	2.1%	25.2%	7.7%	4.2%	3.3%	0.2%
	男性	430	47	196	10	106	40	11	18	2
		47.7%	10.9%	45.6%	2.3%	24.7%	9.3%	2.6%	4.2%	0.5%
女性	462	23	243	9	120	29	26	12		
	51.3%	5.0%	52.6%	1.9%	26.0%	6.3%	5.6%	2.6%		
未回答	9	3	4		1		1			
	1.0%	33.3%	44.4%		11.1%		11.1%			
未既婚	全体	901	73	443	19	227	69	38	30	2
		100.0%	8.1%	49.2%	2.1%	25.2%	7.7%	4.2%	3.3%	0.2%
	既婚	98	5	61	1	19	8	2	2	
		10.9%	5.1%	62.2%	1.0%	19.4%	8.2%	2.0%	2.0%	
未婚	798	68	381	17	207	61	34	28	2	
	88.6%	8.5%	47.7%	2.1%	25.9%	7.6%	4.3%	3.5%	0.3%	
未回答	5		1	1	1		2			
	0.6%		20.0%	20.0%	20.0%		40.0%			
居住地域	全体	901	73	443	19	227	69	38	30	2
		100.0%	8.1%	49.2%	2.1%	25.2%	7.7%	4.2%	3.3%	0.2%
	空知	71	13	32	1	19	3	2	1	
		7.9%	18.3%	45.1%	1.4%	26.8%	4.2%	2.8%	1.4%	
	石狩	334	29	147	5	95	27	14	17	
		37.1%	8.7%	44.0%	1.5%	28.4%	8.1%	4.2%	5.1%	
	後志	23	2	14		6	1			
		2.6%	8.7%	60.9%		26.1%	4.3%			
	胆振	61	6	35	3	11	3		3	
		6.8%	9.8%	57.4%	4.9%	18.0%	4.9%	4.9%		
	日高	21		9		11	1			
		2.3%		42.9%		52.4%	4.8%			
	渡島	58	2	24	1	12	4	14	1	
		6.4%	3.4%	41.4%	1.7%	20.7%	6.9%	24.1%	1.7%	
	檜山	11	3	4		3	1			
		1.2%	27.3%	36.4%		27.3%	9.1%			
	上川	100	5	61	6	17	6	2	3	
		11.1%	5.0%	61.0%	6.0%	17.0%	6.0%	2.0%	3.0%	
	留萌	14	1	7		1	4		1	
	1.6%	7.1%	50.0%		7.1%	28.6%		7.1%		
宗谷	26	0	18	1	6	1				
	2.9%		69.2%	3.8%	23.1%	3.8%				
オホーツク	51	2	26		18	1		4		
	5.7%	3.9%	51.0%		35.3%	2.0%		7.8%		
十勝	68	6	33		15	10	1	1	2	
	7.5%	8.8%	48.5%		22.1%	14.7%	1.5%	1.5%	2.9%	
釧路	31	1	19	1	7		2	1	0	
	3.4%	3.2%	61.3%	3.2%	22.6%		6.5%	3.2%	0.0%	
根室	27	3	12	1	5	5		1		
	3.0%	11.1%	44.4%	3.7%	18.5%	18.5%		3.7%		
未回答	5				1		4			
	0.6%				20.0%		80.0%			
職業等	全体	901	73	443	19	227	69	38	30	2
		100.0%	8.1%	49.2%	2.1%	25.2%	7.7%	4.2%	3.3%	0.2%
	生徒・学生	266	26	110	6	71	18	28	7	
		29.5%	9.8%	41.4%	2.3%	26.7%	6.8%	10.5%	2.6%	
	会社員	186	9	113	2	40	12	3	6	1
		20.6%	4.8%	60.8%	1.1%	21.5%	6.5%	1.6%	3.2%	0.5%
	公務員	364	28	193	11	97	27	5	12	1
		40.4%	7.7%	50.3%	3.0%	26.6%	7.4%	1.4%	3.3%	0.3%
	団体職員等	50	2	24		11	7	1	5	
		5.5%	4.0%	48.0%		22.0%	14.0%	2.0%	10.0%	
農林水産業	5		4			1				
	0.6%		80.0%			20.0%				
自営業	5	2	1			2				
	0.6%	40.0%	20.0%			40.0%				
無職	19	4	8		6	1				
	2.1%	21.1%	42.1%		31.6%	5.3%				
未回答	6	2			2	1				
	0.7%	33.3%			33.3%	16.7%	16.7%			

※ 白地部分は各基本事項毎の割合を、網掛け部分の割合は全体に対する割合を、それぞれ記載した。

(5) 質問2

ア 質問事項

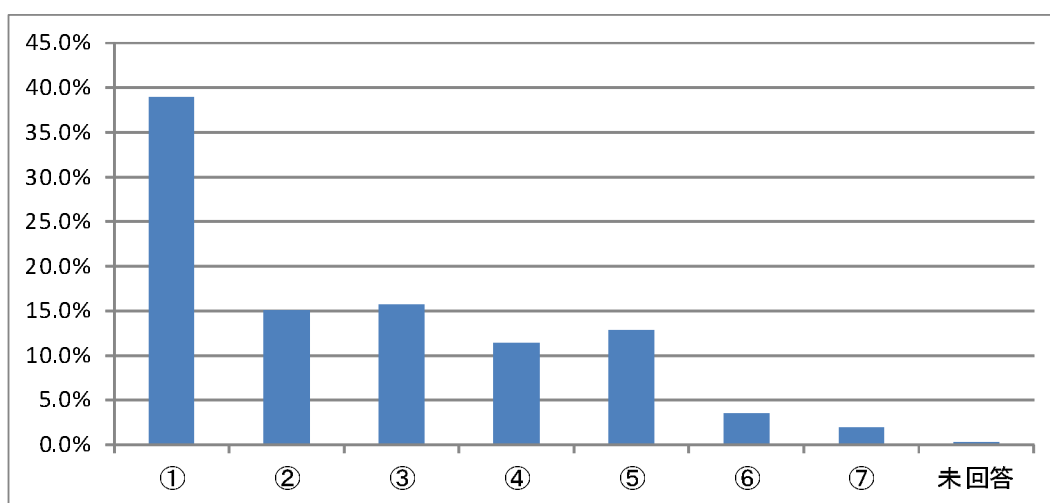
質問2 あなたや家族にとって特に関心が高いものは何ですか。

- ① 日常のくらしや医療、福祉に関すること
- ② 自然や社会の環境やまちづくりに関すること
- ③ 教育・文化に関すること
- ④ 産業・経済に関すること
- ⑤ 行政・税に関すること
- ⑥ わからない
- ⑦ その他

イ 質問の趣旨

若者にとって関心の高い行政分野について聴くことにより、若者意見の聴取に向いている行政分野あるいは、意見聴取の際に配慮が必要な行政分野について、傾向を把握するもの。

ウ 集計結果



	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	未回答	計
割合	39.0%	15.1%	15.8%	11.4%	12.9%	3.6%	2.0%	0.3%	
人数	351名	136名	142名	103名	116名	32名	18名	3名	901名

【傾 向】

- 「①日常のくらしや医療、福祉に関すること」が39.0%と、特に関心が高い
- 「②自然や社会の環境やまちづくりに関すること」、「③教育・文化に関すること」、「④産業・経済に関すること」、「⑥行政・税に関すること」については10%から15%程度となっている
- 年齢別に見ると、「①日常のくらしや医療、福祉に関すること」については大きな違いは見られないが、「③教育・文化に関すること」、「④産業・経済に関すること」については年齢が上がるに従って関心が高い
- 男女別では、「①日常のくらしや医療、福祉に関すること」では女性が男性より支持が高く、「②自然や社会の環境やまちづくりに関すること」、「③教育・文化に関すること」、「④産業・経済に関すること」については、逆に男性が女性より支持が高い
- 地域別では、「①日常のくらしや医療、福祉に関すること」については全ての地域で高い関心を示しているが、「②自然や社会の環境やまちづくりに関すること」以降の項目については地域により大きなバラツキが見られる
「②自然や社会の環境やまちづくりに関すること」への関心が高い地域（後志、檜山、宗谷）は「③教育・文化に関すること」への関心が低く、逆に「③教育・文化に関すること」への関心が高い地域（胆振、留萌、オホーツク、根室）は「②自然や社会の環境やまちづくりに関すること」への関心が低い
- 職業別では、「①日常のくらしや医療、福祉に関すること」については、生徒・学生よりも会社員など社会人の関心が高く、また、「③教育・文化に関すること」については、会社員のみが特に関心が低い

エ その他の回答

- 少子高齢、人口減少による緊急事態であることを強く周知し、既存の社会構造に大なたを振るえるようにすること
- 道内の温泉スポット等の観光地
- 動物愛護、芸能関係

質問2 あなたや家族にとって特に関心が高いものは何ですか。

質問項目		全体	① 暮らし等	② 環境等	③ 教育等	④ 経済等	⑤ 行政等	⑥ 不明	⑦ その他	未回答	
年齢	全体	901 100.0%	351 39.0%	136 15.1%	142 15.8%	103 11.4%	116 12.9%	32 3.6%	18 2.0%	3 0.3%	
	14歳以下	5 0.6%		1 20.0%	2 40.0%		1 20.0%	1 20.0%			
	15～19歳	192 21.3%	73 38.0%	30 15.6%	26 13.5%	14 7.3%	24 12.5%	19 9.9%	6 3.1%		
	20～24歳	333 37.0%	132 39.6%	50 15.0%	51 15.3%	33 9.9%	55 16.5%	8 2.4%	3 0.9%	1 0.3%	
	25～29歳	370 41.1%	145 39.2%	55 14.9%	63 17.0%	56 15.1%	36 9.7%	4 1.1%	9 2.4%	2 0.5%	
	未回答	1 0.1%	1 100.0%								
性別	全体	901 100.0%	351 39.0%	136 15.1%	142 15.8%	103 11.4%	116 12.9%	32 3.6%	18 2.0%	3 0.3%	
	男性	430 47.7%	132 30.7%	74 17.2%	82 19.1%	65 15.1%	56 13.0%	13 3.0%	6 1.4%	2 0.5%	
	女性	462 51.3%	218 47.2%	59 12.8%	57 12.3%	38 8.2%	60 13.0%	17 3.7%	12 2.6%	1 0.2%	
	未回答	9 1.0%	1 11.1%	3 33.3%	3 33.3%			2 22.2%			
未既婚	全体	901 100.0%	351 39.0%	136 15.1%	142 15.8%	103 11.4%	116 12.9%	32 3.6%	18 2.0%	3 0.3%	
	既婚	98 10.9%	55 56.1%	12 12.2%	18 18.4%	3 3.1%	7 7.1%	1 1.0%	2 2.0%		
	未婚	798 88.6%	295 37.0%	123 15.4%	123 15.4%	99 12.4%	109 13.7%	30 3.8%	16 2.0%	3 0.4%	
	未回答	5 0.6%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%		1 20.0%			
居住地	全体	901 100.0%	351 39.0%	136 15.1%	142 15.8%	103 11.4%	116 12.9%	32 3.6%	18 2.0%	3 0.3%	
	空知	71 37.1%	23 32.4%	7 9.9%	12 16.9%	13 18.3%	8 11.3%	5 7.0%	2 2.8%	1 1.4%	
	石狩	334 37.1%	134 40.1%	53 15.9%	47 14.1%	36 10.8%	45 13.5%	10 3.0%	8 2.4%	1 0.3%	
	後志	23 2.6%	7 30.4%	7 30.4%	1 4.3%	4 17.4%	4 17.4%				
	胆振	61 6.8%	24 39.3%	4 6.6%	15 24.6%	8 13.1%	6 9.8%	3 4.9%	1 1.6%		
	日高	21 2.3%	7 33.3%	3 14.3%	4 19.0%	2 9.5%	5 23.8%				
	渡島	58 6.4%	23 39.7%	5 8.6%	4 6.9%	6 10.3%	8 13.8%	8 13.8%	4 6.9%		
	檜山	11 1.2%	6 54.5%	3 27.3%	1 9.1%	1 9.1%					
	上川	100 11.1%	46 46.0%	19 19.0%	10 10.0%	7 7.0%	14 14.0%	2 2.0%	2 2.0%		
	留萌	14 1.6%	7 50.0%	1 7.1%	4 28.6%	1 7.1%	1 7.1%				
	宗谷	26 2.9%	8 30.8%	8 30.8%	2 7.7%	4 15.4%	4 15.4%				
	オホーツク	51 5.7%	16 31.4%	7 13.7%	17 33.3%	5 9.8%	5 9.8%		1 2.0%		
	十勝	68 7.5%	23 33.8%	12 17.6%	10 14.7%	11 16.2%	8 11.8%	3 4.4%		1 1.5%	
	釧路	31 3.4%	14 45.2%	5 16.1%	5 16.1%	3 9.7%	4 12.9%				
	根室	27 3.0%	12 44.4%	1 3.7%	9 33.3%	2 7.4%	2 7.4%	1 3.7%			
	未回答	5 0.6%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%		2 40.0%				
	職業等	全体	901 100.0%	351 39.0%	136 15.1%	142 15.8%	103 11.4%	116 12.9%	32 3.6%	18 2.0%	3 0.3%
		生徒・学生	266 29.5%	95 35.7%	45 16.9%	37 13.9%	21 7.9%	38 14.3%	23 8.6%	7 2.6%	
		会社員	186 20.6%	90 48.4%	27 14.5%	10 5.4%	22 11.8%	26 14.0%	6 3.2%	5 2.7%	
公務員		364 40.4%	132 36.3%	53 14.6%	82 22.5%	51 14.0%	37 10.2%	2 0.5%	5 1.4%	2 0.5%	
団体職員等		50 5.5%	19 38.0%	6 12.0%	5 10.0%	4 8.0%	14 28.0%	1 2.0%		1 2.0%	
農林水産業		5 0.6%	2 40.0%	1 20.0%		2 40.0%					
自営業		5 0.6%		2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%					
無職		19 2.1%	12 63.2%	1	3	2	1				
未回答		6 0.7%	1 16.7%	1 16.7%	3 50.0%				1 16.7%		

※ 白地部分は各基本事項毎の割合を、網掛け部分の割合は全体に対する割合を、それぞれ記載した。

(6) 質問3(1)

ア 質問事項

質問3 今後、より素晴らしい北海道づくりを進めるために、あなたが特に力を入れるべきと思うことを教えてください。(複数選択可)

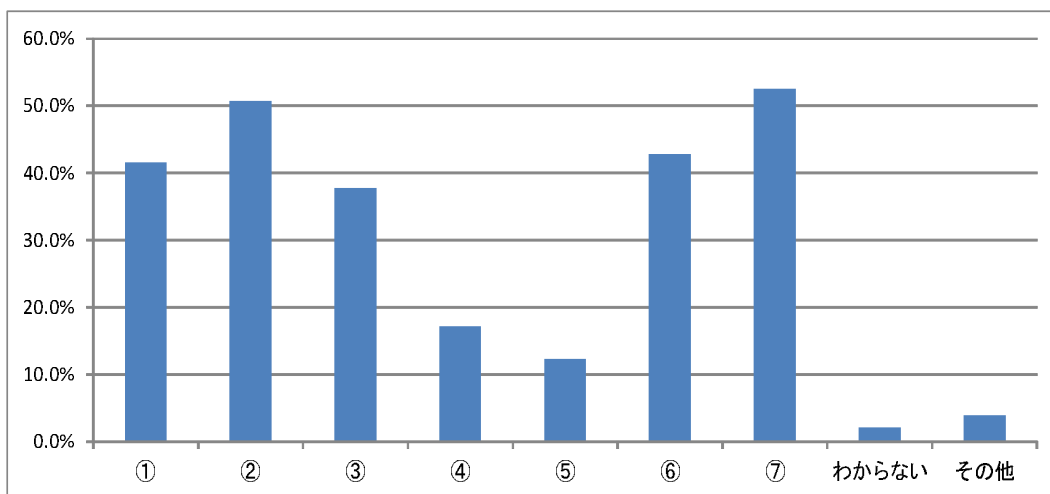
(1) 経済・産業に関すること

- ① 農業や林業、漁業の振興
- ② 地域の特性を活かした産業の振興
- ③ 地元の中小企業や商店などの振興
- ④ 新しい分野の産業の振興
- ⑤ 輸出の拡大
- ⑥ 観光産業の振興
- ⑦ 安定的な働く場の確保

イ 質問の趣旨

経済・産業に関して、若者がどの行政分野に力を入れるべきと考えているのかを聴くことにより、道庁各部での施策推進の参考にするもの

ウ 集計結果



	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	わからない	その他	計
割合	41.6%	50.7%	37.7%	17.2%	12.3%	42.8%	52.6%	2.1%	4.0%	261.2%
件数	375件	457件	340件	155件	111件	386件	474件	19件	36件	2,353件

※複数選択可としたことから、1人平均2.6個を選択している

【傾 向】

- 「⑦安定的な働くの場の確保」、「②地域の特性を活かした産業の振興」がそれぞれ5割を超えており、「①農業や林業、漁業の振興」、「③地元の中小企業や商店などの振興」、「⑥観光産業の振興」についても、それぞれ約40%となっているのに対し、「④新しい分野の産業の振興」、「⑤輸出の拡大」については10%台となっている
- 年齢別に見ると、年齢が高くなるに従って選択個数が増加しており、「⑧わからない」を除く全ての項目で、年齢が高くなるに従って支持が高くなっている
- 男女別では、男性が女性よりも選択個数が多く、「②地域の特性を活かした産業の振興」や「⑥観光産業の振興」など、より広範囲で将来を見据えた事項については男性の支持が高く、「③地元の中小企業や商店などの振興」や「⑦安定的な働くの場の確保」といったより身近で直近の事項については女性の支持が高い
- 居住地域別では、一部にバラツキは見られるものの、都市部に比べて町村の多い地域の方が選んだ個数が多く、「⑦安定的な働くの場の確保」や「②地域の特性を活かした産業の振興」などの支持が高い
「⑥輸出の拡大」については、宗谷が特に高く、渡島、檜山、十勝は支持が低い
- 職業別では「①農業や林業、漁業の振興」、「③地元の中小企業や商店などの振興」については農林水産業従事者は100%となっており、自営業も同様に「①農業や林業、漁業の振興」、「③地元の中小企業や商店などの振興」については支持が高い

エ その他の回答

- 広大な農地による農業経営
- 地域特産品の加工による付加価値の創造、二次産業整備による関連需要の掘り起こし
- 道州制の実施
- 漁業や自然と共存できるような新しい形の大型娯楽施設
- 義務教育段階から観光教育を実施
- 国内外へ向けた広報の強化
- 地方での働く場所の確保、労働賃金の引き上げ
- 国内外企業の誘致
- 学生や低所得者、若者がもっともっと活躍できる場の増
- 天下り定年退職した人や高齢者が働き続け、若者が正規雇用の場が減っている
- 安心・安全で将来に展望を持って働き続けられる社会や職場

質問3 今後、より素晴らしい北海道づくりを進めるために、あなたが力を入れるべきと思うことを教えてください。

(1) 経済・産業に関すること

質問項目		人数	件数	① 農林漁業	② 産業復興	③ 地元企業	④ 新産業	⑤ 輸出拡大	⑥ 観光産業	⑦ 雇用安定	⑧ わからない	⑨ その他
基本事項	全体	901	2,353	37%	50.7%	37.7%	17.2%	12.3%	42.8%	52.6%	2.1%	4.0%
	14歳以下	6	12	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
	15～19歳	192	410	0.6%	0.5%	60.0%	40.0%	40.0%	2.0%	40.0%	60.0%	0%
	20～24歳	333	842	21.3%	17.4%	34.9%	43.2%	27.6%	10.4%	7.8%	34.4%	49.0%
	25～29歳	370	1088	37.0%	35.8%	38.4%	50.8%	38.7%	13.5%	10.5%	42.6%	52.6%
	未回答	1	1	41.1%	46.2%	47.8%	54.6%	42.2%	24.3%	16.5%	47.6%	54.6%
性別	全体	901	2,353	37%	50.7%	37.7%	17.2%	12.3%	42.8%	52.6%	2.1%	4.0%
	男性	430	1,178	47.7%	50.1%	44.4%	52.6%	36.7%	23.0%	14.9%	46.0%	48.4%
	女性	462	1,160	51.3%	48.9%	39.2%	49.1%	36.5%	11.5%	10.0%	39.6%	56.7%
	未回答	9	24	1.0%	1.0%	33.3%	44.4%	44.4%	33.3%	11.1%	55.6%	44.4%
未婚婚	全体	901	2,353	37%	50.7%	37.7%	17.2%	12.3%	42.8%	52.6%	2.1%	4.0%
	既婚	98	272	10.9%	11.8%	41.8%	55.1%	33.7%	21.4%	12.2%	46.9%	61.2%
	未婚	798	2068	88.6%	87.9%	41.6%	50.1%	38.3%	16.8%	12.4%	42.2%	51.4%
	未回答	5	13	0.6%	0.6%	40.0%	60.0%	20.0%	0%	60.0%	80.0%	0%
居住地域	全体	901	2,353	37%	50.7%	37.7%	17.2%	12.3%	42.8%	52.6%	2.1%	4.0%
	空知	71	178	7.9%	7.6%	35.2%	53.5%	38.0%	12.7%	12.7%	42.3%	49.3%
	石狩	334	835	37.1%	35.5%	38.3%	50.9%	33.9%	16.5%	12.0%	41.9%	50.3%
	後志	23	71	2.6%	3.0%	60.9%	60.9%	43.5%	26.1%	13.0%	47.8%	43.5%
	胆振	61	170	6.8%	7.2%	36.1%	50.8%	42.6%	16.4%	13.1%	44.3%	65.6%
	日高	21	67	2.3%	2.8%	47.6%	57.1%	71.4%	28.6%	19.0%	28.6%	66.7%
	渡島	58	145	6.4%	6.2%	27.6%	44.8%	32.8%	15.5%	6.9%	48.3%	67.2%
	檜山	11	26	1.2%	1.1%	54.5%	54.5%	27.3%	18.2%	18.2%	63.6%	63.6%
	上川	100	269	11.1%	11.4%	47.0%	46.0%	43.0%	12.0%	11.0%	45.0%	58.0%
	釧路	14	42	1.6%	1.8%	50.0%	64.3%	50.0%	28.6%	14.3%	35.7%	50.0%
	宗谷	26	83	2.9%	3.5%	53.8%	61.5%	46.2%	19.2%	34.6%	46.2%	57.7%
	オホーツク	51	129	5.7%	5.5%	45.1%	39.2%	31.4%	19.6%	19.6%	49.0%	49.0%
	十勝	68	173	7.5%	7.4%	48.5%	54.4%	42.6%	19.1%	5.9%	38.2%	41.2%
	釧路	31	83	3.4%	3.5%	51.6%	45.2%	32.3%	29.0%	12.9%	38.7%	54.8%
	根室	27	75	3.0%	3.2%	48.1%	51.9%	37.0%	18.5%	11.1%	59.3%	37.0%
	未回答	5	7	0.6%	0.3%	20.0%	80.0%	0%	0%	20.0%	20.0%	0%
職業等	全体	901	2,353	37%	50.7%	37.7%	17.2%	12.3%	42.8%	52.6%	2.1%	4.0%
	生徒・学生	266	571	29.5%	24.3%	33.1%	43.6%	27.4%	10.5%	8.3%	37.6%	47.0%
	会社員	186	478	20.6%	20.3%	33.3%	53.2%	41.4%	16.7%	16.1%	39.2%	52.2%
	公務員	364	1061	40.4%	45.1%	50.3%	54.4%	40.7%	21.2%	14.6%	49.2%	54.9%
	団体職員等	50	137	5.5%	5.8%	44.0%	56.0%	36.0%	22.0%	6.0%	38.0%	66.0%
	農林水産業	9	20	0.6%	0.8%	100.0%	60.0%	100.0%	20.0%	0%	60.0%	60.0%
	自営業	6	22	0.6%	0.9%	60.0%	80.0%	80.0%	40.0%	60.0%	80.0%	20.0%
	無職	19	48	2.1%	2.0%	52.6%	42.1%	47.4%	26.3%	31.6%	52.6%	52.6%
	未回答	6	16	0.7%	0.7%	33.3%	16.7%	100.0%	0%	33.3%	83.3%	0%

※ 白地部分は各基本事項毎の回答の人数に対する割合を、網掛け部分の割合は全体に対する割合を、それぞれ記載した。

※ 複数回答としたため1人当たり2.6個の回答となった。(2,353件÷901名=2.6個/人、回答率261.2%)

(7) 質問3(2)

ア 質問事項

質問3 今後、より素晴らしい北海道づくりを進めるために、あなたが特に力を入れるべきと思うことを教えてください。(複数選択可)

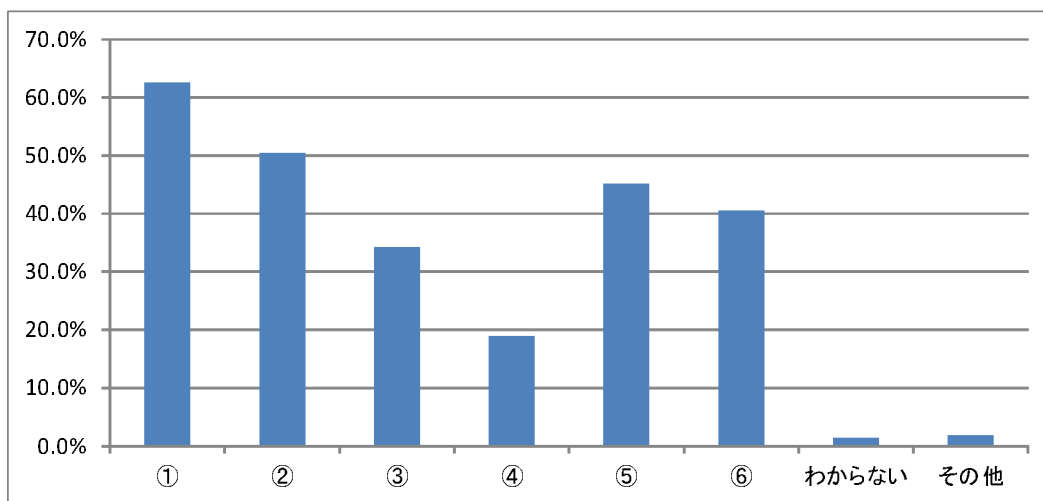
(2) 暮らしに関すること

- ① 保育所の増設など、安心して子どもを生み育てることができる環境づくり
- ② 地域医療や介護・福祉サービスの充実
- ③ 豊かな自然の保全
- ④ リサイクルなどによる環境の保全
- ⑤ 犯罪や事故のない安全・安心な社会づくり
- ⑥ 災害に強い地域づくり

イ 質問の趣旨

暮らしに関して、若者がどの行政分野に力を入れるべきと考えているのかを聴くことにより、道庁各部での施策推進の参考にするもの

ウ 集計結果



	①	②	③	④	⑤	⑥	わからない	その他	計
割合	62.6%	50.5%	34.3%	19.0%	45.2%	40.5%	1.4%	1.9%	255.4%
件数	564件	455件	309件	171件	407件	365件	13件	17件	2,301件

※複数選択可としたことから、1人平均2.6個を選択している

【傾 向】

- 「①保育所の増設など、安心して子どもを産み育てることができる環境づくり」が62.6%と最も多く、「②地域医療や介護・福祉サービスの充実」も50.5%と、子育てや医療への支持が特に高く、「⑤犯罪や事故のない安全・安心な社会づくり」、「⑥災害に強い地域づくり」もそれぞれ40%台の支持を得ており、安定した日常生活についての支持も高い、また、「③豊かな自然の保全」は約3割台、「④リサイクルなどによる環境の保全」については約2割となっている
- 年齢別では、3(1)と同様に、年齢が上がるに従って選択個数が多くなり、特に「①保育所の増設など、安心して子どもを産み育てることができる環境づくり」、「②地域医療や介護・福祉サービスの充実」、「③豊かな自然の保全」への支持が高い
「④リサイクルなどによる環境の保全」のみ、20～24歳の支持が14.1%となっている
- 男女別では、女性の方が男性より選択個数が多く、特に支持が高い「①保育所の増設など、安心して子どもを産み育てることができる環境づくり」を始め、「③豊かな自然の保全」を除き、いずれも男性の支持を上回り、「③豊かな自然の保全」のみ女性より男性の支持が高い
- 既婚・未婚の別では、ほぼすべての項目について未婚者の支持が少し高いなか、「①保育所の増設など、安心して子どもを産み育てることができる環境づくり」については、特に既婚者からの支持が高い
- 居住地域別では、「②地域医療や介護・福祉サービスの充実」では上川、留萌、宗谷の道北3管内は他の地域と比べて支持が高い
- 職業別では、年齢同様、生徒・学生に比べ会社員等の社会人が選択個数が多く、また、自営業者については「③豊かな自然の保全」が100%となっている

エ その他の回答

- 出産費用の免除など経済的支援、保育所の増設、保育士の給与の増
- 教育レベルの向上、英語学習環境の増、学校教育プログラム改革、道支援による高校単位制の導入
- 親になる人の教育、児童虐待や育児放棄などの状態の子供への手助け
- 加速度的に進行する高齢化に対応するための、介護分野への人材確保、待遇改善
- 寂しさから軽い鬱になった人たちのケアをできるコミュニティづくりと広報が必要
- 北海道の雄大な自然を保全し景観を維持しつつ、太陽光発電や風力発電などの開発事業への注力
- シェアハウスのような格安の住居の提供、空き家対策
- 税率の引き下げ

質問3 今後、より素晴らしい北海道づくりを進めるために、あなたが力を入れるべきと思うことを教えてください。

(2) くらしに関すること

質問項目		人数	件数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
基本事項				子育て	医療福祉	自然	環境保全	安全安心	災害対策	わからない	その他
年齢	全体	901	2,301	564	455	309	171	407	365	13	17
		100.0%	100.0%	62.6%	50.5%	34.3%	19.0%	45.2%	40.5%	1.4%	1.9%
	14歳以下	5	11	2	1	4	1	2	1		
		0.6%	0.5%	40.0%	20.0%	80.0%	20.0%	40.0%	20.0%		
	15～19歳	192	462	104	89	58	45	89	67	9	1
		21.3%	20.1%	54.2%	46.4%	30.2%	23.4%	46.4%	34.9%	4.7%	0.5%
20～24歳	333	834	210	169	101	47	153	145	2	7	
	37.0%	36.2%	63.1%	50.8%	30.3%	14.1%	45.9%	43.5%	0.6%	2.1%	
25～29歳	370	992	248	195	145	78	163	152	2	9	
	41.1%	43.1%	67.0%	52.7%	39.2%	21.1%	44.1%	41.1%	0.5%	2.4%	
未回答	1	2			1						
	0.1%	0.1%		100.0%	100.0%						
性別	全体	901	2,301	564	455	309	171	407	365	13	17
		100.0%	100.0%	62.6%	50.5%	34.3%	19.0%	45.2%	40.5%	1.4%	1.9%
	男性	430	1,032	249	195	158	72	181	162	4	11
		47.7%	44.9%	57.9%	45.3%	36.7%	16.7%	42.1%	37.7%	0.9%	2.6%
女性	462	1,250	310	257	147	97	224	201	8	6	
	51.3%	54.3%	67.1%	55.6%	31.8%	21.0%	48.5%	43.5%	1.7%	1.3%	
未回答	9	19	5	3	4	2	2	2	1		
	1.0%	0.8%	55.6%	33.3%	44.4%	22.2%	22.2%	22.2%	11.1%		
未婚	全体	901	2,301	564	455	309	171	407	365	13	17
		100.0%	100.0%	62.6%	50.5%	34.3%	19.0%	45.2%	40.5%	1.4%	1.9%
	既婚	98	253	81	47	28	14	45	34		4
		10.9%	11.0%	82.7%	48.0%	28.6%	14.3%	45.9%	34.7%		4.1%
未婚	798	2,038	480	406	279	157	361	330	12	13	
	88.6%	88.6%	60.2%	50.9%	35.0%	19.7%	45.2%	41.4%	1.5%	1.6%	
未回答	5	10	3	2	2		1	1	1		
	0.6%	0.4%	60.0%	40.0%	40.0%		20.0%	20.0%	20.0%		
居住地	全体	901	2,301	564	455	309	171	407	365	13	17
		100.0%	100.0%	62.6%	50.5%	34.3%	19.0%	45.2%	40.5%	1.4%	1.9%
	空知	71	182	39	31	36	12	33	29		2
		7.9%	7.9%	54.9%	43.7%	50.7%	16.9%	46.5%	40.8%		2.8%
	石狩	334	848	202	164	118	66	162	128	3	5
		37.1%	36.9%	60.5%	49.1%	35.3%	19.8%	48.5%	38.3%	0.9%	1.5%
	後志	23	58	17	11	8	5	8	9		
		2.6%	2.5%	73.9%	47.8%	34.8%	21.7%	34.8%	39.1%		
	胆振	61	170	46	26	23	14	30	28	2	1
		6.8%	7.4%	75.4%	42.6%	37.7%	23.0%	49.2%	45.9%	3.3%	1.6%
	日高	21	71	16	12	11	8	12	12		
		2.3%	3.1%	76.2%	57.1%	52.4%	38.1%	57.1%	57.1%		
	渡島	58	131	30	29	12	10	23	21	6	
		6.4%	5.7%	51.7%	50.0%	20.7%	17.2%	39.7%	36.2%	10.3%	
	檜山	11	23	7	5	3	1	3	4		
		1.2%	1.0%	63.6%	45.5%	27.3%	9.1%	27.3%	36.4%		
	上川	100	267	65	60	30	19	52	37		4
		11.1%	11.6%	65.0%	60.0%	30.0%	19.0%	52.0%	37.0%		4.0%
	留萌	14	37	8	9	4	3	6	7		
	1.6%	1.6%	57.1%	64.3%	28.6%	21.4%	42.9%	50.0%			
宗谷	26	84	20	16	12	9	11	15		1	
	2.9%	3.7%	76.9%	61.5%	46.2%	34.6%	42.3%	57.7%		3.8%	
オホーツク	51	121	34	27	17	6	20	14	1	2	
	5.7%	5.3%	66.7%	52.9%	33.3%	11.8%	39.2%	27.5%	2.0%	3.9%	
十勝	68	164	42	32	22	8	27	31	1	1	
	7.5%	7.1%	61.8%	47.1%	32.4%	11.8%	39.7%	45.6%	1.5%	1.5%	
釧路	31	74	24	18	4	6	10	12			
	3.4%	3.2%	77.4%	58.1%	12.9%	19.4%	32.3%	38.7%			
根室	27	66	13	14	9	4	9	16		1	
	3.0%	2.9%	48.1%	51.9%	33.3%	14.8%	33.3%	59.3%		3.7%	
未回答	5	5	1	1	1		1	2			
	0.6%	0.2%	20.0%	20.0%			20.0%	40.0%			
職業等	全体	901	2,301	564	455	309	171	407	365	13	17
		100.0%	100.0%	62.6%	50.5%	34.3%	19.0%	45.2%	40.5%	1.4%	1.9%
	生徒・学生	266	619	144	126	78	54	115	89	10	3
		29.5%	26.9%	54.1%	47.4%	29.3%	20.3%	43.2%	33.5%	3.8%	1.1%
	会社員	186	492	112	98	72	33	94	79		4
		20.6%	21.4%	60.2%	52.7%	38.7%	17.7%	50.5%	42.5%		2.2%
	公務員	364	952	249	180	122	69	156	164	2	10
		40.4%	41.4%	68.4%	49.5%	33.5%	19.0%	42.9%	45.1%	0.5%	2.7%
	団体職員等	50	143	37	30	21	7	25	22	1	
		5.5%	6.2%	74.0%	60.0%	42.0%	14.0%	50.0%	44.0%	2.0%	
	農林水産業	5	13	4	3	3		1	2		
	0.6%	0.6%	80.0%	60.0%	60.0%		20.0%	40.0%			
自営業	5	15	3	3	5		2	1			
	0.6%	0.7%	60.0%	60.0%	100.0%	40.0%	20.0%	20.0%			
無職	19	53	12	12	5	5	12	7			
	2.1%	2.3%	63.2%	63.2%	26.3%	26.3%	63.2%	36.8%			
未回答	6	14	3	3	3	1	3	1			
	0.7%	0.6%	50.0%	50.0%	50.0%	16.7%	50.0%	16.7%			

※ 白地部分は各基本事項毎の回答の人数に対する割合を、網掛け部分の割合は全体に対する割合を、それぞれ記載した。

※ 複数回答としたため1人当たり2.6個の回答となった。(2,301件÷901名=2.6個/人、回答率255.4%)

(8) 質問3(3)

ア 質問事項

質問3 今後、より素晴らしい北海道づくりを進めるために、あなたが特に力を入れるべきと思うことを教えてください。(複数選択可)

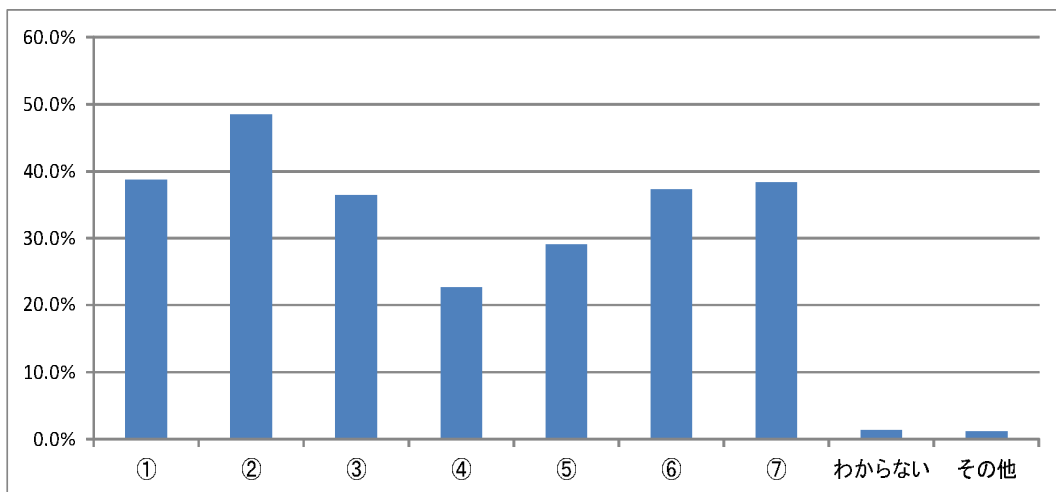
(3) 地域に関すること

- ① 地域のコミュニティづくり
- ② 子どもや青少年の育成
- ③ 女性や高齢者などが活躍できる社会づくり
- ④ ふるさとの歴史・文化の保全
- ⑤ スポーツの活性化
- ⑥ 個性や魅力を活かした地域づくり
- ⑦ 道路、水道、公園、道営住宅などの充実

イ 質問の趣旨

地域に関して、若者がどの行政分野に力を入れるべきと考えているのかを聴くことにより、道庁各部での施策推進の参考にするもの

ウ 集計結果



	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	わからない	その他	計
割合	38.7%	48.5%	36.4%	22.8%	29.1%	37.3%	38.4%	1.3%	1.2%	253.7%
件数	349件	437件	328件	205件	262件	336件	346件	12件	11件	2,286件

※複数選択可としたことから、1人平均2.5個を選択している

【傾 向】

- 「②子どもや青少年の育成」が48.5%と最も多く、「①地域のコミュニティづくり」、「③女性や高齢者などが活躍できる社会づくり」、「⑥個性や魅力を活かした地域づくり」、「⑦道路、水道、公園、道営住宅などの充実」が30%台、「⑤スポーツの活性化」、「④ふるさとの歴史・文化の保全」が20%台となった
- 年齢別では、おおむね年齢が高くなるに従って選択項目が増えているが、「③女性や高齢者などが活躍できる社会づくり」、「⑥個性や魅力を活かした地域づくり」については20～24歳が最も高い
- 男女別では、男性が女性よりも選択項目が多く、「③女性や高齢者などが活躍できる社会づくり」、「④ふるさとの歴史・文化の保全」、「⑥個性や魅力を活かした地域づくり」、「⑦道路、水道、公園、道営住宅などの充実」については女性が男性より支持が高い
「③女性や高齢者などが活躍できる社会づくり」が男性の24.0%に対し、女性は47.8%と倍近くの支持があり、反対に「⑥スポーツの活性化」については、男性が37.4%に対し、女性は21.4%と特に大きな差がついている
- 既婚・未婚の別では、既婚者が未婚者より選択個数が多く、「②子どもや青少年の育成」、「③女性や高齢者などが活躍できる社会づくり」、「⑤スポーツの活性化」、「⑦道路、水道、公園、道営住宅などの充実」については、既婚者の支持が多い
- 居住地域別では、「①地域のコミュニティづくり」、「②子どもや青少年の育成」は後志、日高、留萌が特に支持が高く、「④ふるさとの歴史・文化の保全」は渡島、十勝の支持が低い
- 職業別では、年齢同様、生徒・学生に比べて会社員等の社会人が選択個数が多い
「②子どもや青少年の育成」の回答が自営業者が100%となっているほか、ほぼ全ての職業で1位であるが、2位については会社員が「⑦道路、水道、公園、道営住宅などの充実」、公務員は「⑥個性や魅力を活かした地域づくり」、団体職員が「⑦道路、水道、公園、道営住宅などの充実」と意見が分かれた

エ その他の回答

- 食をとおした地域活性化、住民主導の地域づくり、行政に依存しない住民意識の醸成
- 行政サービスの存在を知らずに貧困に陥っている片親世帯への支援
- 若者と地域の密接な繋がり、出身地以外で働く若者のコミュニティづくり
- 移住者と地元の若者の交流の場づくり、若者による地域づくりへの支援
- 市民、道民の文化に対する姿勢や理解の度合いなどの成長促進
- コスプレのイベント増、青少年の政治への参画
- 交通ネットワーク網の構築、人口減、高齢化対策のためコンパクトシティ化

質問3 今後、より素晴らしい北海道づくりを進めるために、あなたが力を入れるべきと思うことを教えてください。

(3) 地域に関すること

質問項目		人数	件数	① コミュニティ	② 子供若者	③ 女性高齢者	④ ふるさと	⑤ スポーツ	⑥ 地域づくり	⑦ インフラ	⑧ わからない	⑨ その他
基本事項	全体	901	2,286	349	437	328	205	262	336	346	12	11
		100.0%	100.0%	38.7%	48.5%	36.4%	22.8%	29.1%	37.3%	38.4%	1.3%	1.2%
	14歳以下	5	10	1	1	3	2	2	3			
		0.6%	0.4%	20.0%	20.0%	60.0%	40.0%		60.0%			
	15～19歳	192	438	65	74	69	36	47	64	73	8	2
		21.3%	19.2%	33.9%	38.5%	35.9%	18.8%	24.5%	33.3%	38.0%	4.2%	1.0%
20～24歳	333	845	126	162	124	67	101	130	129	3	3	
	37.0%	37.0%	37.8%	48.6%	37.2%	20.1%	30.3%	39.0%	38.7%	0.9%	0.9%	
25～29歳	370	990	157	200	131	100	114	138	143	1	6	
	41.1%	43.3%	42.4%	54.1%	35.4%	27.0%	30.8%	37.3%	38.6%	0.3%	1.6%	
未回答	1	3			1				1			
	0.1%	0.1%			33.3%				33.3%	33.3%		
性別	全体	901	2,286	349	437	328	205	262	336	346	12	11
		100.0%	100.0%	38.7%	48.5%	36.4%	22.8%	29.1%	37.3%	38.4%	1.3%	1.2%
	男性	430	1,072	173	212	103	95	161	154	164	4	6
		47.7%	46.9%	40.2%	49.3%	24.0%	22.1%	37.4%	35.8%	38.1%	0.9%	1.4%
女性	462	1,192	173	221	221	107	99	179	179	8	5	
	51.3%	52.1%	37.4%	47.8%	47.8%	23.2%	21.4%	38.7%	38.7%	1.7%	1.1%	
未回答	9	22	3	4	4	3	2	3	3			
	1.0%	1.0%	33.3%	44.4%	44.4%	33.3%	22.2%	33.3%	33.3%			
未婚	全体	901	2,286	349	437	328	205	262	336	346	12	11
		100.0%	100.0%	38.7%	48.5%	36.4%	22.8%	29.1%	37.3%	38.4%	1.3%	1.2%
	既婚	98	265	32	63	40	20	36	34	39		1
		10.9%	11.6%	32.7%	64.3%	40.8%	20.4%	36.7%	34.7%	39.8%		1.0%
未婚	798	2,006	314	373	286	185	224	299	303	12	10	
	88.6%	87.8%	39.3%	46.7%	35.8%	23.2%	28.1%	37.5%	38.0%	1.5%	1.3%	
未回答	5	15	3	1	2	2	2	3	4			
	0.6%	0.7%	60.0%	20.0%	40.0%		40.0%	60.0%	80.0%			
居住地域	全体	901	2,286	349	437	328	205	262	336	346	12	11
		100.0%	100.0%	38.7%	48.5%	36.4%	22.8%	29.1%	37.3%	38.4%	1.3%	1.2%
	空知	71	187	24	30	24	18	31	30	30		
		7.9%	8.2%	33.8%	42.3%	33.8%	25.4%	43.7%	42.3%	42.3%		
	石狩	334	820	131	158	119	83	87	123	115	2	2
		37.1%	35.9%	39.2%	47.3%	35.6%	24.9%	26.0%	36.8%	34.4%	0.6%	0.6%
	後志	23	65	13	14	6	6	4	14	7	0	1
		2.6%	2.8%	56.5%	60.9%	26.1%	26.1%	17.4%	60.9%	30.4%	0.0%	4.3%
	胆振	61	158	30	29	16	15	21	20	23	2	2
		6.8%	6.9%	49.2%	47.5%	26.2%	24.6%	34.4%	32.8%	37.7%	3.3%	3.3%
	日高	21	77	11	17	12	6	9	11	11		
		2.3%	3.4%	52.4%	81.0%	57.1%	28.6%	42.9%	52.4%	52.4%		
	渡島	58	134	18	19	25	5	10	23	26	6	2
		6.4%	5.9%	31.0%	32.8%	43.1%	8.6%	17.2%	39.7%	44.8%	10.3%	3.4%
	檜山	11	31	3	6	7	2	3	5	5		
		1.2%	1.4%	27.3%	54.5%	63.6%	18.2%	27.3%	45.5%	45.5%		
	上川	100	264	43	49	44	28	26	29	42	1	2
		11.1%	11.5%	43.0%	49.0%	44.0%	28.0%	26.0%	29.0%	42.0%	1.0%	2.0%
	留萌	14	43	9	11	5	3	5	6	4		
		1.6%	1.9%	64.3%	78.6%	35.7%	21.4%	35.7%	42.9%	28.6%		
宗谷	26	83	9	15	13	7	10	13	16			
	2.9%	3.6%	34.6%	57.7%	50.0%	26.9%	38.5%	50.0%	61.5%			
オホーツク	51	125	15	26	16	11	15	19	21		2	
	5.7%	5.5%	29.4%	51.0%	31.4%	21.6%	29.4%	37.3%	41.2%		3.9%	
十勝	68	164	24	31	25	9	24	26	24		1	
	7.5%	7.2%	35.3%	45.6%	36.8%	13.2%	35.3%	38.2%	35.3%		1.5%	
釧路	31	70	11	19	8	6	8	7	11			
	3.4%	3.1%	35.5%	61.3%	25.8%	19.4%	25.8%	22.6%	35.5%			
根室	27	61	7	13	7	5	8	10	11			
	3.0%	2.7%	25.9%	48.1%	25.9%	18.5%	29.6%	37.0%	40.7%			
未回答	5	4	1	1	1	1	1	1				
	0.6%	0.2%	20.0%		20.0%	20.0%	20.0%					
職業等	全体	901	2,286	349	437	328	205	262	336	346	12	11
		100.0%	100.0%	38.7%	48.5%	36.4%	22.8%	29.1%	37.3%	38.4%	1.3%	1.2%
	生徒・学生	266	625	92	105	108	54	63	93	97	10	3
		29.5%	27.3%	34.6%	39.5%	40.6%	20.3%	23.7%	35.0%	36.5%	3.8%	1.1%
	会社員	186	467	71	84	75	46	53	60	76		2
		20.6%	20.4%	38.2%	45.2%	40.3%	24.7%	28.5%	32.3%	40.9%		1.1%
	公務員	364	963	147	200	115	85	119	152	139	1	5
		40.4%	42.1%	40.4%	54.9%	31.6%	23.4%	32.7%	41.8%	38.2%	0.3%	1.4%
	団体職員等	50	136	22	28	17	11	17	18	22	1	
		5.5%	5.9%	44.0%	56.0%	34.0%	22.0%	34.0%	36.0%	44.0%	2.0%	
	農林水産業	5	16	3	2	2	2	2	2	3		
	0.6%	0.7%	60.0%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	60.0%			
自営業	5	21	4	5	3	3	3	3	3			
	0.6%	0.9%	80.0%	100.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%				
無職	19	48	8	11	6	3	4	6	9		1	
	2.1%	2.1%	42.1%	57.9%	31.6%	15.8%	21.1%	31.6%	47.4%		5.3%	
未回答	6	10	2	2	2	1	1	2				
	0.7%	0.4%	33.3%	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%	33.3%				

※ 白地部分は各基本事項毎の回答の人数に対する割合を、網掛け部分の割合は全体に対する割合を、それぞれ記載した。

※ 複数回答としたため1人当たり2.5個の回答となった。(2,286件÷901名=2.5個/人、回答率253.7%)

(9) 質問 4

ア 質問事項

質問 4 その他、これまでの質問の他に、道庁へのご意見があればお聴かせください。

イ 質問の趣旨

道政全般に対する意見を聴き、道庁各部での施策推進の参考にするもの

ウ 特徴的な意見

- アンケートを取るだけでなく、このアンケートを生かして欲しい
- 若い人が主張することは大切であるばかりか、若い人たちは意見を持っていて、機会があれば主張することを本当は望んでいます
- 行政などに関わることがないので、行政に声を届けられるのは嬉しい
- このようなアンケートが定期的にあると更に活性化につながる
- もっと会議とかに若者を参画させた方がよい
- 若い世代だけではなく、今の働く世代、子育て世代の30代40代の意見をしっかりと聞くべき
- アナウンスの仕方を再考すべき、働けていない若者のほうが意見は多い
- 入り口としてはSNSを活用したほうが良い。そこから顔を付き合わせた意見交換まで発展していくことを想定して会議での意見交換を選択した
- 直接話せる機会があると、より興味をもつ若者が増える
- 意見交換会を設けてほしい
- お偉いさんと若者のまちづくりに関する意見交換の場がほしい
- 若者が希望を持ってないのは将来が見えないから。道庁がやるべきことは、30年後を見据えた政治政策を作ること。そのために若者会議開催を
- せっかく進学で北海道に来ている学生がいるのに、卒業後は給料や待遇面で引けをとるため本州の企業に就職する人が多く、非常に残念
- 若者の移住促進のきっかけになるイベントづくり（フェス等）やその発信が弱い。多様な地域を持つ北海道の特性を活かした街づくり
- 子どもが出来ても働き続ける事が出来る社会保障を充実しないと、いつまで経っても人口増につながらない
- 若者が集まるような魅力的な施策が欲しい。子育ての支援等を積極的に行ってほしい。このままでは若者は東京等に出ていく一方
- 活性化のためには、若者を育てる教育に力を注ぐことが必要不可欠